

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会調査論	安藤 直樹	講義	2	社会福祉士	2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>授業では、社会調査において最もよく用いられている質問紙調査が行われるプロセスについて紹介します。そして、具体的な事例を用いながら、質問紙調査を実施するのに必要な基本的知識と方法を身につけていきます。</p> <p>また、研究として行われる学術的な調査を取り上げることで、研究のプロセスについても紹介するとともに、社会科学的な考え方も養っていきたいと思います。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問紙調査が行われるプロセスについて述べるができる。</li> <li>・ 質問紙調査を実施するのに必要な基本的知識と方法を身につける。</li> <li>・ 授業で身につけた基本的知識と方法を基にして、質問紙を作成することができる。</li> </ul>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション：シラバスの内容確認、社会調査とは						
2	調査の企画①：問題（リサーチ・クエスチョン）の提起、文献レビュー						
3	調査の企画②：仮説の設定						
4	調査の企画③：測定と尺度水準						
5	質問紙の作成①：質問文の作成						
6	質問紙の作成②：回答形式						
7	質問紙の作成③：質問紙の構成						
8	調査の実施①：標本調査（母集団と標本）とサンプリング（無作為抽出）						
9	調査の実施②：質問紙調査の実施方法						
10	調査の実施③：コーディングとエディティング						
11	データの処理（記述統計）①：1つの変数の特徴を記述する						
12	データの処理（記述統計）②：2つの変数の関係を記述する						
13	データの処理（推測統計）①：母集団の様子を推測する（統計的推定）						
14	データの処理（推測統計）②：母集団の様子を推測する（統計的仮説検定）						
15	調査結果の報告：報告書（論文）の書き方、発表の仕方						
予習内容 復習内容	<p>予習：次回の授業で扱う内容について事前に調べておく。</p> <p>復習：授業で扱った内容について振り返るとともに、さらに詳しく調べてみる。</p>						
教科書	テキストは使用せず、必要な資料を適宜配布します。参考文献については授業の中で紹介します。						
成績評価	毎回の授業で行う課題の提出状況（40%）とレポート課題（60%）により成績を評価します。授業では毎回出席を確認します。特別な理由なく、出席回数が授業回数の3分の2に満たない場合は評価の対象外となりますので、注意してください。毎回の授業で行う課題およびレポート課題については授業の中で詳しく説明します。						
実務経験							
その他 特記事項	<p>データを扱う際に電卓（ルートの計算ができるもの）を使用するので、事前に準備しておいてください。電卓を使用する時期については授業の中で指示します。</p> <p>質問はいつでも受けつけますので、わからないことがあれば遠慮なく聞いてください。</p>						